

SPECIAL

LUXURY FISHING BOAT

REGAL 38 SAV

ついに日本上陸を果たした「REGAL(リーガル)」のスポーツ・アクティビティ・ベッセル“SAV”。

「REGAL 38 SAV」は、38フッターのセンターコンソールながらデッキレイアウトは左右非対称、

左舷のみにウォークスルーを設けた独自のデザインが注目されるモデルだ。

この初上陸のニューカマーに神戸沖でシートライアル。

オーナーによるとこのボートを沖縄に搬送し、沖縄の海に浮かべて遊ぶことを想定して購入したとのこと。

まさにぴったりのモデルを紹介しよう。

text: Atsushi Nomura photo: Kai Yukawa

special thanks: REGAL JAPAN <https://regalboats.jp>





YAMAHA F300F ×3基で合計900馬力、トップスピード43フィート。沖縄の海にとても似合いそうな、REGALオリジナルのアイデアたっぷりのセンターコンソールだ。

センターコンソールの左舷側はフラットなサイドウォークスルーだが、右舷側はハイドックアクセスと称するブルワークトップと同レベルのサイドデッキになっている。その名の通り岸壁などに右舷着岸した際には乗り降りしやすい工夫だ。かなり変わった意匠で、独自路線を進むREGALらしいアイデアと言えるだろう。

今回の艇にはオプションのフィッシングパッケージが採用されており、随所にロッドホルダーが見られる。サイドのブルワークトップだけでなく、トランサムにも5連のホルダー。さらにハードトップ後部には8連ロケットランチャーまで装備している他、アウトリガーもビルトインされている。コクピットほぼ中央には見た目にも美しいライブウェルも備わっており、従来のREGALからは考えられないほどフィッシング色が強い。ジギングやキャストリング、ライトローリングなどさまざまなスタイルの釣りに対応できる。

アフトコクピットには対面した大型ベンチシートが並んでいるが、これは折り畳み可能。アフトコクピットでのファイトの際も、シートが邪魔になってロッドの取り回しに難渋するということも無さそうだ。ただしキャプテンはアングラーの位置を確認し、右舷側がウォークスルーになっていないことを考慮しながら、ボートをコントロールする必要があるだろう。

アフトコクピットの最後尾両舷にはスライディングプラットフォームへ繋がるドアがあるが、それとは別に両舷にサイドドアも設けられている。前述のハイドックアクセスはその名の通り高い岸壁などへ乗り降りする際に便利だが、通常の棧橋であればサイドドアを使うことになるだ

REGALのスポーツアクティビティボート“SAV”日本初上陸！ マリンスポーツ、フィッシング、マリーナステイまで多彩に遊べる38フッター

フロリダ州オーランドに本拠地を置く「REGAL BOATS (リーガル)」は、アメリカ合衆国最大規模の、 congromaritt に属さない独立系ボートビルダーとして知られている。ランナバウトやエクスプレスクルーザーを中心に展開し、一部フライブリッジ艇も含めラグジュアリークルーザーを製造している。

現在は6つのシリーズに37モデルをラインナップ。2016年のイヤーモデルからアウトボード艇が加わり、従来のインボード艇やスターンドライブ艇から大きく様変わりした。2018年のイヤーモデルから新たなシリーズとして追加されたのが「SAV」だ。「SAV」とは「Sports Activity Vessel」の略。エレガントにボー



トでスポーツアクティビティを楽しもう、というコンセプトだが、従来のREGALには見られなかったフィッシング色を強く意識したモデルということで注目を集めた。最初のモデルとなったのは「33 SAV」で、2020年ラインナップから加わったのが今回紹介する「REGAL 38 SAV」となる。

*

REGAL 38 SAVは全長12m、全幅3.6mとかなりワイドな艇体で約8.5トンの乾燥重量を持つ。パワートレインはトリプルアウトボード仕様で、今回の艇にはYAMAHA F300が搭載されていた。SAVシリーズに共通する特徴が、左右非対称のデッキレイアウト。セ





フォアデッキには横向きのU字ソファを配置。アームレストやドリンクホルダー、マリンステレオなども備わる。マットレスを敷き詰めればご覧のようなサンベッドにもなる。



アフトコックピットは対面シートと両舷のサイドドアが特徴的。シートは折り畳めるため、キャストイングやトロローリングの際にはデッキ全体を広々と使用できる。

ろう。またアフトコックピットとサイドデッキには15cm程度の段差があるが、サイドデッキからフォアデッキまでは同レベルのフラットなデッキとなっている。フォアデッキは横向きになったU字ソファが配置されており、その下はストレージとなり、デッキ中央にはチークテーブルを装着できる。フォアデッキのソファはアームレストも備わったゴージャ



スな仕様。さらにテーブルの代わりにマットレスを敷けば、大型サンベッドにも変身する。

続いてセンターコンソール周りを見てみよう。大型ウィンドスクリーンでドライバーズシートを含めコンソールの後ろは高速走行中もほぼきつい風が当たらない。シートはクワッドバケットシートとなっており、右から2番目がドライバーズシートに該当する。全体がサンルーフ付きのハードトップに覆われており、後部にはアフトコックピット方向に向けた液晶モニターもビルトインできる。

ヘルムステーションは、大型タッチスクリーンが2面並び、スイッチ類はスクリーン下に並ぶ。ダッシュボード上部にはコンパスすらなくすっきりと前方が見渡せる。38 SAVはバウスラスタも装備しており、ステアリングホイールの左手にスラスタノブ、同じくトリムタブのコントローラーなども左側に配置されている。ステアリングの右には、HELM MASTER EXの2連のシフトレバーとジョイスティックが並ぶ。3基掛けだが2本のシフトレバーでも、シングルレバーでもコントロール可能だ。クワッドシートの後ろはリギングステーション兼リフレッシュメントセン

ターのコンソールが独立している。バーベキューグリルやシンク、冷蔵庫などの他に、サイドには前述の美しいライブウェルが収納されている。

コンソールの左舷側にはキャビンへのアクセスドアがある。センターコンソールながら38フッターで全高のボリュームもあるため、ス



シンク、バーベキューグリル、ライブウェルなどが備わるリギングステーション。左右非対称の右舷側はハイドックアクセスと呼ばれる特徴的なデッキ構造となっている。



クワッドシートの右から2番目がドライバーシート。見やすい大型タッチスクリーンを中心に、各種スイッチやコントロール系が並ぶ。ハードトップはサンルーフ付きだ。

テップを経てロアフロアに降り立つとかなりのヘッドクリアランスとなる。左舷に電子レンジが収納されたカウンター、右舷には独立したシャワーも備わったヘッドコンパートメント。フォアキャabinは仕切り

はないが、Vバースとして使用できる。このVバースはボタン一つでソファに可変だ。アフトコクピット真下のミッドキャbinもまぎまぎのクリアランス。



ヘッドクリアランスのあるロアフロア。フォアキャbin、ミッドキャbinと十分なオーバーナイトスペースがある。独立したシャワールームを備えた個室ヘッドは右舷側。

右舷にソファ、左舷に大型ベッドが並んでいる。中央にマットレスを敷き詰めればクイーンサイズのベッドとしても使える。こういった細かいアイデアはいかにも REGALらしい。オープンポート、センターコンソール

ルながら、マリーナステイも十分に楽しめる。
*
シートライアルは神戸の沖合いで行った。小さなうねりのあるコンディション。風も多少あるが、強い影響を受けるレベルではない。



シフトレバーを徐々に押し込んでいくとほぼハンプを見せないでブレーキングへ入る。クルージングスピードは30ノット台だが、まずは25ノット程度でスラロームを行ってみる。スムーズなヒールではほぼ狙った通りのラインで走る。続いて30ノットまでスピードアップして同様にスラロームを行う。多少アグレッシブな雰囲気になってきたが、あまりスピード感は感じない。次いで35ノット程度でスラロームを行う。むしろこのくらいスピードが出ていた方が軽快で楽しい。ヒールも自然で、スプレーもきれいに後ろへ飛ばしてくれる。あまりにも自然な乗り心地だったため、さらにシフトを押し込んでいたことに気付かず、38ノット程度でも普通にスラロームしてくれた。その後、トップスピード



YAMAHA F300Fトリプルアウトボードのパワートレイン。静音性も高く、走行中もある程度会話ができるレベルだった。

を何度かテストし、5,900rpmで43ノットに到達。風向きや、潮流、乗船人数などで多少変わるとは思うが十分すぎるパフォーマンスである。

冒頭でも触れたが、このボートのオーナーは、釣りや各種マリナクティビティを楽しむために、38 SAVを沖縄本島へ搬送すること。40ノットオーバーの38 SAVであれば本島の周りの島々、例えば座間味や慶良間などもデイクルーズでさっと行って帰って来れるレベルだ。ピクニック的にボートを使えるだろうし、フィッシング、シュノーケリングやマリンスポーツなど多彩な遊びがそこには待っている。REGALが投入したマルチパーパスなREGAL 38 SAVは、日本の海での遊びにぴったりかもしれない。**P.B.**



ウィンドスクリーンがしっかりと機能しているため、高速走行中も正面からは強い風が来ない。40ノット近くで走っているはずだがスピード感が少し狂う。いずれにせよ十分すぎるパフォーマンスを見せてくれた。



オプションのフィッシングバックステージにより、随所にロッドホルダーが並ぶ。ハードトップ後部にはロケットランチャーも見える他、アウトリガーがビルトインされているのがREGALらしからぬ味わい。



REGAL 38 SAV

全長 12 m
 全幅 3.6 m
 喫水 0.78 m
 重量 8.52 ton
 エンジン 3× YAMAHA F300F
 最高出力 3× 300 HP
 燃料タンク 1,287 L
 清水タンク 227 L
 問い合わせ先 リーガルジャパン TEL: 079-322-8800
<https://regalboats.jp>



YouTube